

**製品名: FHL2 (4I16) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10960**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FHL2
別名	AAG11; DRAL; Fhl2; SLIM3;
遺伝子 ID	2274.0
SwissProt ID	Q14192
免疫原	ヒト FHL2 の組み換えタンパク質

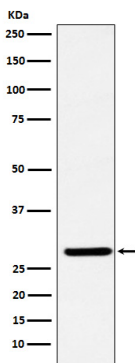
**背景**

様々なシグナル伝達経路を転写調節に結びつける分子伝達物質として機能する可能性がある。転写抑制因子 E4F1 を負に制御し、細胞増殖に機能する可能性がある。様々なシグナル伝達経路を転写調節に結びつける分子伝達物質として機能する可能性がある。転写抑制因子 E4F1 を負に制御し、細胞増殖に機能する可能性がある。FOXO1 と SIRT1 の相互作用および FOXO1 の脱アセチル化を促進することにより、FOXO1 の転写活性およびアポトーシス機能を阻害する。心筋細胞においてカルシニューリン/NFAT シグナル伝達経路を負に制御する (PubMed:28717008)。

## 研究分野

-

## 画像データ



SW480 細胞溶解物中の FHL2 発現のウェスタン プロット分析。